

立火(たてび)吹筒花火が

小松島市無形民俗文化財に指定されました

吹筒花火とは、火薬を詰めた竹筒を約7mのほたてに取り付け、その竹筒の先から火の粉が飛び散る花火のことです。立江八幡神社は阿波花火発祥の地と言われており、小松島市が花火の産地となる所以ともいわれています。立江の花火は他と異なり娯楽として楽しませるだけではなく、八幡神社に奉納する奉納煙火でもあります。奉納煙火は、江戸時代より毎年9月に神事として、五穀豊穡や家内安全・災難方除を祈念し、盛んに執り行われてきました。